

令和4年度

第2回

関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時：令和4年9月12日（月）

13：30～15：30

場 所：関東森林管理局ほか
（各委員の事務室等）

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）木材の需給動向について

- ①木材の需給及び価格等の動向
- ②関東森林管理局における国有林材の供給状況
- ③各地域の木材需給動向について

（2）その他

3 閉 会

令和4年度 第2回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一
福島県森林組合連合会 常務理事	遠藤 誠寿
栃木県 林業センター 技幹兼場長補佐(総括)兼研究部長	川上 晴代
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業経営・政策研究領域 領域長	久保山 裕史
協和木材株式会社 代表取締役社長	佐川 廣興
東京合板工業組合 業務統括室長	佐々木 祐子
茨城県森林組合連合会 代表理事専務	佐藤 信聡
群馬県森林組合連合会 木材部長	鈴木 克志
有限会社平子商店 専務	平子 美穂子
栃木県森林組合連合会 木材流通課 課長	福田 成芳

関東森林管理局

官 職	氏 名
森林整備部長	川浪 亜紀子
資源活用課長	森田 隆浩
企画官(木材需給対策)	畠山 幸樹
上席技術指導官(木材供給担当)	奥村 忠充
素材供給係長	齋藤 悠
供給計画係	濱砂 俊介

(別紙)

令和4年度 第2回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 議事概要

1 開催日時・場所

令和4年9月12日(月) 13:30~15:30

関東森林管理局 3階小会議室及び各委員事務室等(書面及びWEB会議)

2 議題

(1) 各地域の木材需給動向

(2) その他

3 検討結果

各地域の木材需給の動向や各委員からの報告等を総合的に勘案した結果、現時点において供給調整実施は必要ないが、現在の木材需給動向は緩和気味で、木材価格は下降傾向にあり、一部の委員からは今後の動向により国有林材の供給調整の検討を望む意見があった。このことから、各地の木材需給状況、市況をこれまで以上に注視し、大きな動きがあれば、臨時の供給調整検討委員会の開催を含め対応されたい。なお、臨時の供給調整検討委員会が開催される場合に備え、供給調整の対応策が速やかに打てるよう検討されたい。

4 概要(状況報告等)

(1) 各地域の木材需給動向について

- 原木の荷動きは芳しくなく販売量も減少している。端境期で出材量が減少し、在庫量は保合い。価格は、杉については柱材、中目材ともに堅調に推移。桧は全般的に値を下げているが、浜松市内はFSC材の需要が旺盛で高止まりしている。製材品の荷動きは悪く販売量は減少、在庫は増加傾向。価格は7月までは保っていたが、値下げ要請が増えている。
- 原木の荷動きは順調で、在庫は保合い。価格は横ばいだが8月後半から虫害の影響あり。製材品の引き合いは杉、桧ともに弱く、出荷量は停滞気味で、価格は横ばいから弱含みと下降気味。
- 原木の入荷は順調である。原木価格は、杉は横ばいで推移しているが、桧は値を下げている。製材品については、出荷が鈍化した品目の生産を減らすなど、調整している工場もある。製材品価格は、杉柱材、桧土台材などで徐々に値を下げている。
- 製材用の原木の入荷量、在庫量はピークを過ぎ、価格は徐々に低下している。合単板用の原木の入荷量は減少、価格は高水準を維持しているが、今後、下落に転じる可能性がある。
- 原木の生産や入荷は順調である。製材工場や合板工場などの原木購入側は、製材品の売れ行き減少を受けて買い控えに転じている。
- 合板用の原木入荷は概ね安定。価格は安定しているが、一部で安値落札あり。製品の荷動きは変わらず、価格は横ばい。
- 原木取扱量は民有林材の入荷が低調で、昨年比では減少傾向にある。杉の価格は横ばいであるが、桧は下落している。
- 原木の入荷量は例年より増えている。虫害等により買方が必要分のみの買付をしており、原木の在庫量が増え始めている。

- 雨が多く原木の入荷が落ち込んでいる。8月までの原木価格は良かったが、9月に入り虫害の影響で値下がり気味となっている。
- 原木の入荷は順調である。虫害のため価格が下がってきている。

(2) その他

- 特に桧の原木価格が下落する中、民有林からの出材が多いことから、可能であれば、今後の価格変動に応じ国有林からの出材を調整できないか。
- 地域に多い中小製材業者は市場で原木を確保しており、国有林材の出材が落ちると地域への影響が大きいと考えられる。原木価格はコロナ前の水準まで落ちていない状況なので、素材生産は維持してほしい。
- 今後の先行きは不透明であるが、例年秋口は丸太が足りない傾向にあり、当面の国有林の供給調整は必要ない考える。
- 港に輸入材が滞留しているために国産材の供給調整を行うことには違和感がある。
- ウッドショックのためにバイオマス用に材が流れないという話があったが、年間を通して見ると供給量は増加している。ただしバイオマス工場が増えたために、需給自体はタイトになってきている。